

# オフィスイトウ 通信 2020年冬号

発行日 2020年12月1日

発行人 株式会社オフィスイトウ

平素はアフラックの保険をご継続いただきましてまことにありがとうございます。  
今年は新型コロナウイルスによる「新しい生活様式」が取り入れられ、皆様にも変化の大きい1年になったと思います。来年は延期された東京オリンピックの開催等、今まで通りとはいかないまでも、また人が集まるイベントが開催されることを願っております。来年も皆さまにとってより良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

## 今号のトピックス

- 新型コロナウイルスとがんについて
- リモート面談サービスを本格的にはじめました！

# 新

## 型コロナウイルスとがんについて

コロナ禍が原因で、がん治療に変化が起きている事をご存知でしょうか？  
新型コロナウイルスが原因で「通院できない」「治療を延期したい」という事も現在は多々発生しているようです。

### ①検診の自粛

コロナ禍において、皆様色々と自粛していましたが、がん検診も自粛される方が多くなっているようです。新型コロナウイルスとの戦いは長くても2～3年ほどと言われていますが、がんはこれからあと20年は罹患者が増えるものと思われまます。がん治療は「早期発見・早期治療」が大事ですので、可能であればがん検診を受けましょう。



### ②医療体制ひっ迫



病院によっては新型コロナウイルス患者の受入れを行っているため、また、他の病院に協力で出張したりすることで、医師や看護師など人が足りていない状態になっています。病院側も万一院内感染等が発生しないよう、通常とは違う対応をしていますので、進行の遅いがんの場合は、治療を延期するという考えもあるようです。

### ③コロナに感染すると重症化することも

がん患者が感染リスクが高いかもしれないと言われていますが、実際は証拠となるデータはまだ無いようです。また、合併症や併存疾患が無い感染者と比較して重症化するリスクは他の合併症と比較しても特別高いという事もないようです。しかし、呼吸器の併存疾患がある場合、人工呼吸器の装着率が高いと言ったデータも出ています。



いかがでしたでしょうか？新型コロナウイルス対策の基本である

①3密を避ける ②手洗い ③咳エチケット

を実践し、感染を広めない事が最も重要であると思います。

本記事の参考：日本対がん協会「がん患者さんのための新型コロナウイルス対策」